

# 宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和5年11月9日発行

## 1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	41週	42週	43週	44週	警報レベル	注意報レベル	
	10月9日～10月15日	10月16日～10月22日	10月23日～10月29日	10月30日～11月5日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ <sup>#</sup>	3	5	11	25	30	10	10
	1.00	1.67	3.67	8.33			
新型コロナウイルス感染症 <sup>#</sup>	14	10	5	7	-	-	-
	4.67	3.33	1.67	2.33			
RSウイルス感染症	0	0	0	0	-	-	-
咽頭結膜熱	2	1	1	0	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0	0	1	8	4	-
感染性胃腸炎	5	10	4	9	20	12	-
水痘	0	0	0	0	2	1	1
手足口病	0	1	0	0	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	1	0	2	-	-	-
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

## 2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	-	-	-
備考			

### \*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

## 3. 新型コロナウイルス感染症の段階適用状況

国の基準に基づき、在院者数に応じた本県の段階(Ⅰ～Ⅲ)を定め、段階に応じて即応病床数を設定しています。

	段階	適用期間	県の在院者数
今週	0	11/8～11/14	85人
前週	0	11/1～11/7	81人

※県の在院者数は毎週水曜日時点

## 4. 栗原支所より

### 【 定点把握対象疾患 】

- ・ インフルエンザは前週より増加しています。
- ・ 新型コロナウイルス感染症は前週より増加しています。
- ・ 感染性胃腸炎は前週より増加しています。

### 【 集団発生情報 】

新たな集団発生の報告はありません。

### 【 感染症コラム ～正しいPPEの着用方法～ 】

- ・ PPE(Personal Protective Equipment)とは感染症対策に必要な个人防护具のことで、マスク、手袋、ゴーグル、フェイスシールド、ガウン等があります。
- ・ 病原体の種類や、感染者との接触状況等により、装着するPPEを使い分けます(例:N95マスクあるいはサージカルマスクなど)。
- ・ 感染症から身をまもるためには、PPEを正しく装着し、適切な手順で着脱することが重要です。
- ・ PPEを着用する際は、まず手洗いをし、マスクを正しく装着します。次に、ゴーグルやフェイスシールドを装着し、手袋を着用します。最後にガウンを着用します。
- ・ ペアでお互いの装着状況を確認するか、各自鏡で確認することも重要です。
- ・ 脱着時は、手袋を外した後にガウンを外し、最後にマスクを外すようにします。また、動作ごとにアルコールなどで手指消毒をするようにしましょう。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班  
☎0228-22-2117 📠0228-22-7595

HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>